

JPALS



日本薬剤師会 生涯学習支援システム

まだ、
実践記録を
書きはじめられない方へ

すでに、実践記録を利用している私からの
メッセージです。

ポートフォリオ(実践記録)を利用しながら思うのは、
ポートフォリオは学習者(自分)のものであり、
学習分析に必要であるということです。

何しろ忘れない内に記録しておかないと！と、
学習から時間的な余裕なく入力していますので、
学習内容によって書き方が違っていき、
良く書けたなど見直して評価等していません。

自分でまた取り出してみるから結構ですよ～といった感覚です。

肩の力を抜いてやってみましょう♪

実践記録に「予習」という提案

＊各地で開催される多くの研修会は、製薬会社の製品説明に関連したものです。

製品になじみが有無にかかわらず、「今日の治療薬」など、日ごろ使っているもので検索して

「実践記録」の研修内容に記録して研修会に臨みましょう。

疑問や、明日からの応用がおのずと見えてきます。

復習は2時間がいいという提案

* ノーベル医学・生理学賞の受賞者京都大教授の山中伸弥さんが、

「一番効果のある復習の時間は学んでから

2時間」 と、

提案されていました。

なかなかむづかしいですが意識してみたらいいかもしれませんね。

JPALS仲間を作るという提案

*** 仲間が集まれば、お互いに知恵と秘訣が行きかいます。**

**点数がつくわけではありませんが、
自分のとっておきの「ファイル」ができてきます。**

毎日、開いてみたくなるようなノートを作っていきます。

JPALS



日本薬剤師会 生涯学習支援システム

では、

「実践記録を書いてみよう」編

へ・・・

つづく